

バイオ系のキャリアデザイン

就職支援 **OGOB** インタビュー編

Interview ①

サントリースピリッツ株式会社 商品開発研究部

遠山 和也



出身大学・卒業年度：東京工業大学大学院生命理工学研究科生物プロセス専攻 2012年 修士課程修了
 修士論文タイトル：原油のサワー化における微生物反応に関する研究

「現在の仕事について」

◆担当職務

スピリッツ・リキュールなど酒類の商品開発

◆現在までのキャリアパスとその配属での仕事内容

- ・2012年4月～2015年8月：酒類の醸造（醗酵）に関する技術開発
- ・2015年9月～：缶チューハイ，原料酒の開発

◆そこでのやりがい

いまはSNSもあるので，開発した製品のお客様の評価をリアルタイムで見られますし，おいしいと言っていただけ時間が一番のモチベーションになります。

◆現在の会社・組織（アカデミアを含む）の魅力

自分がやりたいことをしっかりと話ができれば，年次に関わらず大きな仕事やブランドを任せてもらえる点，幅広いキャリアを選択できる多くのフィールドがある点です。

◆現在の就職を決めた理由

微生物を使ったものづくりに挑戦できる企業を探していましたが，その中でも選考で関わった人事の方が皆さん非常にユニークで，面白そうな会社だと思ったからです。

◆将来設計（描けるキャリアパス）

現場に近い生産技術の開発や，原料の良さを高めるための研究開発，香味設計のエキスパート，またはもう少し基礎的な研究を詰めていく，など色々なことが考えられます。

◆挑戦したいと思っていること

自社で強みをもつ技術を活用して，新製品（新ブランド）の立上げをしたいと思っています。

◆社会人として一番感動したこと

自分たちが苦労して研究してきた技術が現場に導入され

て，実際に製造されているところを見た瞬間です。

◆社会人として一番困難だったこと&どう乗り越えましたか

新製品の開発で新たな原料を使うにあたり，その評価，加工方法の確立，生産現場への落とし込みまで担当した時は納期も短く，大変でした。最速で最良の判断をするには誰をどう巻き込むかを考え，しっかり説明をして協力を得ることが本当に重要だと実感しました。

◆仕事のプロになるコツ

会社とお客様のメリットは何かを常に考え，行動へと結び付けていけば，自然と自分にしかできないことが増えていくのかな，と思って仕事をしています。

◆理系人材力，どこで発揮していますか？

なぜそうなるのかを突き詰めて考える力があるのは強いと思います。商品開発でも「この香味がなぜお客様に響くのか？」を論理的に説明できるとぶれない開発ができますし，結果的にお客様に受け入れられると思います。

「人生について」

◆何のために働くのですか？

会社の中で認められることはもちろん，それを超えて，社会で認められる人間になりたいと思って働いています。

◆ご自分にとって，お金を稼ぐ意味

食事と旅行と趣味にお金を使うためです。

◆ワークライフバランスで工夫していること

積極的に有休をとることと，土日には仕事を完全に忘れて思いきり遊ぶことです。

◆現在の夢

仕事で一流になることはもちろん，趣味の写真でももっと突き詰めて，一流と呼ばれるまで高めていきたいです。

◆将来の展望

個人的には技術屋だと思っているので、ものづくりの技術開発にはずっと携わりたいと思います。結果的に海外で開発を行うこともあるかもしれません。

「後輩へ」

◆学生時代にやっておいたらよかったと思えること
もっとコミュニケーション力を磨いておけばよかったと思います。幅広いバックグラウンドの方がいるので

しっかりと説明し説得できないと伝わりません。研究室であれば教授をどう説得するか、といったところでしょうか。

◆その他なんでも、後輩に伝えたいこと

まずは今できること（研究、遊び）を後悔しないくらい突き詰めて、やり切るのが一番だと思います。

連絡先 E-mail: Kazuya_Toyama@suntory.co.jp

Interview ②

医療法人 神明会（研究員）、大阪府立大学（非常勤研究員）

中屋 慎



出身大学・卒業年度：大阪府立大学大学院生命環境科学研究科 2014年 博士後期課程修了

博士論文タイトル：Hypolipidemic effects of wx/ae double-mutant rice and its components in model mice

「現在の仕事について」

◆担当職務

アグリ・フード分野の新規事業における研究開発。痛みを緩和する新規機能性成分の基礎研究

◆現在までのキャリアパスとその配属での仕事内容
民間企業（食品）にて営業職を経験した後、大学に進学しました。博士号取得後は研究員として生活習慣病を予防する新規機能性食品の研究プロジェクトに参加し、主に機能性成分の分析および評価を担当しました。現在、医療法人にて農業・食品分野での新事業立ち上げに参加し、得意分野である分析技術に加え、栽培から研究、営業までをシームレスに行っています。

◆そこでのやりがい

新しい事業を成長させることに強い魅力を感じています。まだ小さい組織で決定権を持つ人が少ないので、挑戦的なアイデアでも実行しやすいです。自分の判断が事業の今後を左右するという責任感と充実感がやりがいです。

◆現在の会社・組織（アカデミアを含む）の魅力

医療法人としては農業・食品分野への異業種参入ですのでハイリスクですが、良いアイデアと戦略があるのでハイリターンが期待できます。また、基礎研究にも注力できるのが魅力です。

◆現在の就職を決めた理由

これまで、新規食品素材の基礎研究から市場化に至る過程に研究者として携わって来ました。この経験を活かして、研究だけでなく広く事業に携わるベンチャービジネスにも挑戦したくなったからです。

◆将来設計（描けるキャリアパス）

今携わっている新規事業を成長させることで、ベンチャービジネスの進め方を学ぶことができます。たっぷり経験を積んで、次は自分がビジネスを始めたいと考えています。

◆挑戦したいと思っていること

仕事柄、挑戦することばかりです。来月、圃場の木を抜くためにショベルカーを初めて操作します。楽しみです。

◆社会人として一番感動したこと

自分の仕事の夢を生き活きと語る中年男性と出会ったことです。それまで「やりたいこと」ではなく「やるべきこと」を考えるのが仕事だと思っていたので衝撃でした。

◆社会人として一番困難だったこと&どう乗り越えましたか

研究をしていると「こんな良い素材は何もしなくても売れる！」と勘違いしがちです。作り出した素材の良さや効果を相手に分かりやすく伝えることも、研究と同じくらい大切なことだと学びました。

◆仕事のプロになるコツ

営業職の時、上司に「給料と同額の利益を挙げたら一人前だ」と言われました。研究職での成果は金額に換算しにくいですが、価値を見積もって給料以上の利益を出すよう意識しています。

◆博士力、どこで発揮していますか？

博士力とは、研究スキル（知識や技術）だけではなく、科学的思考により未来を予測し、潜在的な課題を発見し解決する能力だと思います。仕事で関わる方々に博士力があると認めてもらえるよう努力しています。

「人生について」

◆何のために働くのですか？

生活をするために必要な収入を得るためです。でも、幸いなことに、今、僕はワクワクとドキドキを感じながら働くことができます。

◆ご自分にとって、お金を稼ぐ意味

映画「ライムライト」に “Yes, life can be wonderful, if you're not afraid of it. All it needs is courage, Imagination, ... and a little dough.” と主人公が語るシーンがあります。僕の人生とお金に対する価値観はこのセリフに影響を受けました。

◆ワークライフバランスで工夫していること

息子と夕食をとる時間を優先しています。夕方は頭が冴える時間帯で、もうちょっと仕事をしたくなるのですが、切り替えるよう努めています。また、研究対象の農作物

を自分の食生活に取り入れています。調理と食事の楽しみが増えます。

◆現在の夢

マイナーな農作物から機能性を見つけ出し、新しい食品素材として提供することで、食卓をもっと豊かにしたいです。素材探しもマーケットも地球規模で。

◆将来の展望

研究者としての実績とビジネス経験を積み重ねて、農業・食品分野で新しいビジネスを展開したいと考えています。

「後輩へ」

◆学生時代にやっておいたらよかったと思えること

気の合う友人を見つけることです。社会人として知り合う方の多くは仕事に関係していて、自然と専門分野が近くて考え方の似た友人が増えます。まったく違う分野の仕事をしている学生時代からの友人のアドバイスは、新たな視点を与えて考え方の幅を広げてくれます。

◆その他なんでも、後輩に伝えたいこと

どんなことでも、経験する機会があればやるべきです。不思議ですが、一見無関係な経験も仕事をしていくうえで役立つことがよくあります。子どもの頃に無理やり手伝わされた農作業も、今の僕には貴重な経験として役立っています。

連絡先 E-mail: nakaya@biochem.osakafu-u.ac.jp